

令和3年度 美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「美術2」 (光村出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・五感でよく観察し、表現力を高めよう。
- ・1年次に学んだ技術を生かし、より完成度の高い作品をめざし制作します。

2 学習の到達目標

- ・具象、抽象を問わず、積極的に取り組む姿勢を身に付ける。
- ・言葉や身近な素材をきっかけに、表現の幅を広げさせる。
- ・身近な素材、用具が画材になることを体験させる。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

観 点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 完成作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	油画・静物画	【鑑賞】 オリエンテーション ・教科書等を鑑賞し多様な表現形式について学び「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。 【絵画】 ・素材や形の違うモチーフ4～5点を組み、見る方向を変えてスケッチする。 ・10号のボードに油絵具(黒以外)を混色し、ペインティングナイフだけで描写する。 ・明暗、立体感、材質感、空間を表現する。 ・制作レポートを丁寧に書く。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	鑑賞レポート 鑑賞活動の様子や発言内容
	高校展レポート	【鑑賞】 ・高校展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞レポート
2学期	シャドウオブジェ制作	【立体】 ・シルエットの面白い動物を選び、アイデアスケッチする。 ・シルエットに合わせて、箱の中で光を当てながら素材をボンドで組み合わせ、影の形を作る。 ・爪楊枝の立体と影の形とのギャップを意識しながら制作する。 ・制作レポートを丁寧に書く。	○				a:学習内容に関心を持ち、手順や材料の使用方法を理解している。 c:材料の特性を生かし、表現方法を工夫している。 b:動物の特徴を表現することに関心を持ち、制作に主体的に取り組んでいる。 c:光りと影の関係を理解し立体をつくることができる。 d:完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	スケッチ内容 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 制作レポート

3 学 期	スクラッチ絵画	【絵画】 アルファベットストーリーから描くシュールな世界>制作 ・自分のイニシャルから発想し、クラス全員で架空の物語を創作する。 ・超現実的な場面を組み合わせる。 ・実物のスケッチや図鑑等の資料から画面構成する。 ・スクラッチボードに、黒から白に至るトーンをニードルによるタッチで表現する。 ・写実的に描写する。イニシャルを画面のどこかに組み入れる。 ・制作レポートを丁寧に書く。	○	○	○	○	a:学習内容に関心を持ち、イニシャルから発想し架空のストーリーを考える。 b:シュールな世界を理解し、ストーリーの場面から組み合わせる表現し、画面構成を練る。 c:ニードルの技法を学び、様々な表現方法を使う。 d:完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	ストーリー展開 シュールな世界のとらえ方 多様なニードル表現 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 制作レポート
	3 年 校 内 展 レ ポ ー ト	【鑑賞】 ・3年校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感取り、理解を深めている。	鑑賞レポート

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:発想や構想の能力
c:創造的な技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。